

幼稚園の開設 1954

～ 仙台教会の歴史シリーズ その9～

小林孝男

1. 小さな疑問が沸き上がる

手元には仙台教会の年表が何種類かあります¹。その中で最もしっかりまとまっているものは、『献堂四十周年記念誌』の巻末の「仙台バプテスト教会の沿革」です。その年表には1954年（昭和29）の欄に「現在地で幼稚園開設（4月）」とあります。それを見て「あれっ？」と思いました。幼稚園設置が県から認可されたのは、5月1日だったはず²です。そこで教会設立に当たって作成したと思われる、年表としては最も古い「仙台バプテスト伝道所沿革」で改めて確かめてみると、「昭和29年5月ミセス・グラントにより仙台バプテスト幼稚園を開設す」とありました。やはり5月だったとの確信を得ましたが、それではなぜ4月に幼稚園が開設されたなどとしたのか疑問になりました。単純なミスなのだろうか、未認可のままスタートしたのだろうか、何となくもやもやとした気分です。そんな時に、グラント宣教師の著書の中に、開園の前に幼稚園の記事が河北新報に掲載された、ということが書かれていたことを思い出しました³。その記事を探し出せば、4月開設という年表の記載が正しいのか間違っているのかははっきりできるかもしれないと思い、早速宮城県図書館へ赴きました。

2. これは園児募集のパンフレットか！？

今の時代ですから、新聞もデータベース化が進んでいます。「河北新報データベース」は色々の図書館に導入されていますが、残念ながら1991年（平成3）8月からのものしかありません。また「河北ライブラリー」⁴は、1897（明治30）年の創刊号から2011年（平成23）12月31日号までが電子データ化されたものですが、非常に高額なようで、導入している図書館は国立国会図書館程度しかなく、またオンラインでの記事検索や閲覧サービスは行っていないため、今のところ活用は困難です。となると唯一の頼りはマイクロフィルムです。宮城県図書館で1954年（昭和29）4～5月の河北新報のマイクロフィルムを、一コマ一コマ追いながら記事を見つけ出す作業になります。これにはなかなか骨が折れました。1日目、2日目とマイクロフィルムと格闘したのですが見つかりません。そして3日目、だいぶ目も慣れて

きたためでしょうか、これまで発見できなかった記事を、4月13日（火）の夕刊の4面にやっと見つけ出すことができました。

その記事を見て驚きました。なんとまるで幼稚園の園児募集のパフレットであるかのように、教育方針や保育の特色⁵が丁寧に紹介されているのです。そしてさらに驚いたことには、記事の中に「本月二十六日開園することになった仙台バプテスト教会幼稚園（仙台市北四番丁）は・・・」と書かれているではありませんか。『献堂四十周年記念誌』の巻末の年表の「幼稚園開設（4月）」は正しかったのです！認可前にもかかわらず園児を募集し、幼稚園を開設・開園するというのはどういうことなのでしょう。お役所との関係においても多少融通が利く時代だった、ということもあったかもしれませんが、それ以上にグラント宣教師夫妻の覚悟をそこに感じます。つまり、万が一認可されないようなことがあったとしても、自分たちは責任をもってお預かりした子供たちを保育していく、という強い覚悟です。キリストの精神をもって人を育てること自体の大切さを確信し、またその業を通して福音をこの地に根付かせることの使命を、夫妻は自覚していたのです。

3. 偶然の発見

この新聞記事に関連してもうひとつ面白いことがありました。幼稚園の記事の内容とは全く関係ないのですが、「日米の長所を調和 仙台に新しい型の幼稚園」というタイトルで書かれた記事の真上に、3月の新聞に掲載された小学生のつづり方の作品を、選者が講評している記事があり、作品のベスト5が紹介されていました。その二番手に「東北大付属小（北七）五 安井洋子」とありました。実は彼女は1954年（昭和29）に仙台教会の新会堂が建った頃には既に礼拝に通っており、翌年の秋にバプテスマを受けた少女です。その時代から2022年に召天するまで、彼女は仙台教会の教会員として誠実な信仰生活を送ってきました⁶。また、仙台教会の60周年を記念して2015年（平成27）に発行された『60年のあゆみ』の中で、お人形社幼稚園と仙台バプテスト教会幼稚園の二つの幼稚園が、こんなにも近くに背中合わせで開設できた謎の解き明かしを、彼女は書いてくれています⁷。仙台教会の中で代々語り継がれてきた幼稚園秘話なのでしょう。興味深い内容ですので是非ご一読ください。

名 称	仙台バプテスト教会幼稚園
設置者	ワース・グラント
園 長	キャサリン・グラント
教 諭	三浦栄子 ⁸
定 員	30名
認可日	1954年5月1日
開園日	1954年4月26日

¹ 「仙台バプテスト伝道所沿革」(1955)、「献堂 20 年のあゆみ(主な出来事)」(1974)、「献堂 25 年のあゆみ」(1979)、「献堂 30 年のあゆみ(略史)」(1984)、「仙台バプテスト教会の沿革」(1995)、「仙台バプテスト教会年表」(2015)

² 資料(1954/05/01_幼稚園設置認可) 幼稚園は 5 月 1 日を創立記念日としている。

³ 『主の息吹の中で』37～38 頁

⁴ 創刊号から 2011 年 12 月 31 日までの紙面 725,035 ページ分を、デジタル処理して 45 枚のディスクに収納

⁵ 資料(1954/04/13_新しい型の幼稚園_河北新報夕刊_)、記事には「週に二、三回は日本の伝統である生花もとり入れて物を愛する心を養い・・・」とある。この生花を担当したのが教会員の荘子聡子。私も大変お世話になった方であり、園児に生花を教えていたことは以前から知っていたが、開園当初からこの働きを担っておられたということは記事を読み初めて知った。

『主の息吹の中で』36～44、89～91 頁 幼稚園設置申請の書類作りには、グラント師の「教師兼協力者」の任にあたっていた佐藤ミツ(クリスチャン・仙台教会歴史シリーズ 19、22 参照のこと)の大きな協力と支援があった。

⁶ 鈴谷洋子(旧姓安井)は 2022/9/20 に召天

⁷ 資料(2015/10/18_60 年のあゆみ_抜粋)43 頁

⁸ 旧姓は天野。尚綱女学院教会から転会した方で教会組織メンバーの一人